

木谷の風



コミュニティ・スクール推進員 福田 みき

地域の方から学んだこと

【ホボロ島調査 5年生 6月5日(月)】

講師の先生に、自然探検専門家の古本敦子先生、広島大学総合博物館の黒島先生、地質専門家の尾森先生、船を出してください昔のホボロ島の話をしてくださった増田さん、長尾さん。地域から田阪さん、尾首さん、森重さん。学校からは教頭先生、吉田先生、福田のメンバーで現地学習を行いました。



学習のねらいは、2点です。

- ① 島の崩れる原因を調べる。

【島の希少性を知り興味をもつ。】

- ② 島にすむ生き物について調べる。【島の自然の豊かさを知る。】



7人の子供たちは、学習に一生懸命に取り組みました。大きく分けて3つの内容を学びました。

1つ目は、鼻線島の土質調査です。手で触ったりたたいたりしてみました。ガラスに使う石からできている砂浜は粒が大きくざらざらしていました。たたく音も





いな石。そして、植物がない島。波うち際から島の周りを採集しながら歩き回りました。持ちきれないほどの豊富な生き物を確認することができました。

3つ目は、「謎の衝突痕」について古本先生から説明がありました。この何かが衝突したあとは、隕石の衝突か、爆弾痕か、落石か？謎にわくわくしました。



はっきりと聞こえ硬さを感じました。

2つ目は、ホボロ島の土質と生き物調査です。鼻線島と比較してとても柔らかいことを実際に触って実感しました。歩くたびに崩れる岩場。大量のナナツバコツブムシ。驚くほど穴をあけたアパートみた



今回も多くの皆様にお世話になりました。5年生のこれからの学びに活かしていきます。ホボロ島は木谷の宝だ としみじみ思いました。

関わってくださったすべての皆様、ありがとうございました。

